



第13回

会社の業績の見方 損益計算書と貸借対照表



渋沢 英子



津田 桜子



北里 三郎



とうしくん

渋沢 お金の疑問にパキッと回答、「お金なんでも相談室」。ナビゲーターの渋沢英子です。

北里 北里三郎です。

津田 津田桜子です。

津田 / 北里 よろしくお願ひします！

渋沢 今日の質問いってみましょう！

北里 視聴者からメールをいただきました。「株式投資を始めたいと思っているけど、会社の業績って何を見たらわかりますか？」だそうです。

渋沢 なるほど。突然ですが、三郎さん、前の学期の勉強の調子はいかがでしたか？

北里 唐突に何ですか？ えーっと、英語はまあまあ、数学は最悪、社会はこの番組に参加しているせいはかなり良かったです。

渋沢 それは何よりです。三郎さんは今の判断、何を根拠に答えてくれましたか？

北里 そりゃあ、自分の成績表の評価を見ましたから……

渋沢 実は、会社にも成績表があるんです。その成績表を**損益計算書**といいます。皆さんの成績表が1学期間や前期などの学習の成果をまとめているように、損益計算書は、1年間でどのくらい利益を上げられたかなど会社の活動の成果をまとめているんです。具体的には「売上」、原材料費・人件費等の「費用」、そして売上から費用を差し引いた「利益」の額がわかるんです。

津田 損益計算書を見れば、会社の業績がわかるってことですね。

北里 じゃあ投資をするときは損益計算書だけ見ればいいんですね！

渋沢 いえいえ、会社の業績がわかるもう1つ重要なものがあります。それが貸借対照表です。

北里 貸借対照表？ なんですかそれは？

渋沢 では説明しますね。三郎さんはお小遣いをもらっていますか。

北里 毎月もらっています。ちなみに今月は、お小遣いでマンガを3冊買いました。

- 渋沢** それはつまり、お小遣いがマンガ3冊に換わったということですよ。
貸借対照表はお金をどこから得て、何に使ったのかを表した表です。
貸借対照表では、借りて手に入れたお金である「負債」と、借金ではなく自分が持っていたお金である「資本」、そして、そのお金の使い道である「資産」が書いてあります。これらを見ることで、会社がお金を有効に使えているかどうかを判断することができます。
- 津田** 三郎くんの場合だったら、お小遣いが資本で、マンガ3冊が資産ってことですね！
- 渋沢** その通りです！ さすがですね！
この損益計算書と貸借対照表などを**決算書**といって、会社はこれらを広く公表することが求められているんです。こういった表を参考にして、投資家は投資をしているんですよ。
- 北里** 僕の成績表やお小遣い帳が公表されたら恥ずかしいな……成績はもっと良くしてほしいし、お小遣い帳もマンガじゃなくて参考書を買ったことにしちゃおうかな。
- 津田** 嘘はだめなんじゃない？
- 渋沢** その通り！ 嘘をついてはだめです！ 会社の決算書を参考に投資をしている人もいますので、正しい情報が公表されないと、投資家はどの会社に投資すればいいか判断ができませんよね。**正しい情報を公開**することは会社の責任の1つなんですよ。
- 津田 / 北里** はい！ わかりました！
- 津田** 当たり前だけどとても大切なことですね。
- 北里** よし！ 次は公表しても恥ずかしくないような成績にしなくちゃ！
- 渋沢** 思うような成績が出なかった会社でも、改善して結果が出れば投資家は評価してくれますよ。
- 津田** 頑張っってね！
- 北里** でもなー。マンガの続きが気になるな～。
- 津田** 三郎くん……
- とうしくん** 今日の授業のおさらいだよ。
・ **決算書**で会社の業績がわかる
・ 決算書には損益計算書、貸借対照表などがある
・ **損益計算書**は、会社の活動の成績表
・ **貸借対照表**はお金をどこから得て、何に使ったのかを表したもの
・ 投資する時には、**決算書をみて会社の業績を知る**ことが大切
わかったかな。